

は所謂共同戦線無産党と名乗る全国労農大衆党がその実践に於て甚だしく党内不
統一的傾向を暴露しつつあることを認めるものもあり、かくの如き傾向は新社会
建設に重大復命を帯びる吾らの政治闘争をスローガンとして表明せしむるも
病的怒癡以外の何ものもなき非実力ゆゑなるせし無産党の行動に於てせしめるも
のである。

故に吾等は此の危機に面せる無産階級政治闘争の正面を俯向し其の正しき發展
の爲めに統制全四三方の同志と共に同一行動をとり、これ全国労農大衆党支持を取
消し直ちに切迫せる現実のより適切な行動闘争に邁進するものである。

大衆党に對する支持取消に際して右声明す。

六月十五日

日本労働組合総聯合會 兵庫縣聯合會

執行委員會

種々なる事情より吾等を惹いて居る東京聯合會の全面的情勢と兎も
なる大衆と中野部の態度を兎極めるに雖も決意のもとに、昭和七年一月十三日
特別政治部執行委員会中央委員会が同日特別委員会を召集し、對する最後の
態度を協議し、統制全聯合會と歩調を合せ、この同盟攻撃の行状すべく尤の声明書

を発表し、

全国労農大衆党支持取消

聲明書

吾が東京聯合會は日本労働組合総聯合會の一聯合會として、亦本政支持に關し
て日本労働党創立以来本日に至る全国労農大衆党を支持しつゝあつた。然るに党
は共同戦線の美名にかく、新政府の合同は實権部を專断とし、党内立場に於て決意
せらぬ、爲に党内は一貫し居る指導勢力を離れし得ず、党内の矛盾、乃至對立
を差起し何等実力的且つ効果的行動をなし得ず、且狀態にあつて、即ち一般的日常闘
争を通じ例へば具體的な方針案に於ても何等党本部に寄附する何者も吾が聯合
會にはなかつた。

而し吾が聯合會は常にかくる情勢は實戦を通じて克服し以て党の拡大強化をほ
かり、遂に大衆の意志を代表すべき完全なる党の指導部の確立を志念とし、かく
るが故に野政の確立に對する支持団体の「特殊與擔党實制度」政策運行に對する
支持団体退出の「無任所執行委員削減」其の他合同過程に於て、党大会に於てもこれ
が努力を怠らなかつたが一つとして、客観的、兎がなかつた。